



進路だより

第5号 令和8年7月13日
宮城県立石巻支援学校
進路指導部

高等部では、前期の現場実習が終了し、卒業後の進路先の検討がいよいよ本格的になってまいりました。保護者の皆様には、本校の進路指導に日頃より御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、進路だよりでは、各学部の進路指導に関係の深い学習を紹介しています。進路指導との関連で、「発達段階における育てたい力」につきましては、「進路の手引き」を御覧ください。

小学部 「日常生活の指導」（4年）

小学部4年生では、クラスの中で役割を持って取り組むことを目標とし、日直や掃除の椅子並べなどを当番制で行っています。教室の前に「くるくる当番表」を掲示し、毎日みんなで確認しています。「今日の日直は誰かな？」と言葉掛けをすると、表を見て返事したり、椅子を持って前に出て来たりする様子が見られるようになってきました。みんなで協力して、過ごしやすいクラス作りに取り組んでいます！



中学部 「松島へ泊まりに行こう」（2年：宿泊学習）

7月1日（水）～2日（木）、松島自然の家に宿泊し、校外での学習を行いました。

1日目は、午前にはザ・ミュージアム MATSUSHIMA へ行き、オルゴールの素敵な音色を聴きました。様々な形のオルゴールを見て楽しみ、大きな音に驚く生徒もいましたが、知っている曲が流れると体を動かしたりリズムにのっている生徒もいました。午後からは松島湾を巡る観光船に乗りました。まず、船内の窓から松島の景色を見た後、屋根のない船尾に移動して風を感じながら松島の景色を見てきました。その後、観光物産館でおみやげを買ってきました。

2日目は、自然の家で貝と流木を使った制作活動をして無事に宿泊学習を終えました。

この宿泊学習をとおして、社会生活の経験を広げ、仲間との関わり合いを深めることができました。



高等部 「前期現場実習報告会」（各学年：職業）

高等部では、3週間わたって行われた前期実習を振り返り、6月17日に「報告会」を行いました。2、3年生は現場実習先からいただいた評価表を確認しながら、今後の課題などをまとめて発表しました。1年生も初めての校内実習の成果を発表しました。以下に数名の感想を紹介します。

「分からないことは質問し、接客の仕方を学びました。」「自分から進んで作業ができるようになりました。」「鶏肉に粉をつける仕事を1日に1000個できました。」「今後の課題は、気持ちの切り替えがすぐにできるようになることです。」「10月には1年生も現場実習に行きます。高等部みんなでがんばっていきたいと思います。」



現場実習を終えて ～実習先の方からのお話～



現場実習後、進路担当が実習先をまわり、評価や今後の課題を聞いてきました。
今後の課題は、高等部だけでなく、小学部・中学部段階からの学習を積み重ねて
少しずつ身に付けていきたい力です。

【就労継続支援B型】

【生活介護】

○良い点

- ・休まずに通うことができた。
- ・安定した気持ちで落ち着いて過ごすことができた。
- ・実習先の職員の声掛けに応じながら過ごせた。
- ・利用者と一緒に活動の場にいることができた。
- ・休憩時間はリラックスした様子で一人で過ごせた。

◆今後へ向けて◆

- ・事業所では職員数に限りがありマンツーマン対応はできないので、在学中に次のことを身に付けておいてほしい。
- ☆一人で落ち着いて待つことができる。
- ☆声掛けに応じて周囲の人と一緒に移動できる。

○良い点

- ・休まずに通うことができた。
- ・明るく元気があり、利用者に積極的に話をした。
- ・どの仕事にも指示に素直に応じて取り組んだ。
- ・周囲の様子をよく見て、真似して作業することができた。
- ・前回よりも落ち着いて取り組み、成長を感じた。

◆今後へ向けて◆

- ・就労継続支援B型は「働く」ところ。
(日中、過ごすためだけの場所ではない)
保護者の希望で通うのではなく、自分で「ここで仕事をする(実習する)」ということをきちんと意識して通ってほしい。

【一般企業】

○良い点

- ・初めての仕事にも意欲的に取り組み、ここで働きたいという意気込みを感じた。
- ・(介護事業所の)利用者さんの名前をすぐに覚え、大きい声で名前を呼んで声を掛けながら、丁寧に配膳していた。
- ・仕事をすぐに覚え、指示通りに行えた。仕事ぶりは丁寧で正確。手先も器用で、手際よく行っていた。
- ・仕事を終わるとすぐに報告し、次の指示を仰ぎ、常に積極的に仕事に取り組んだ。

◆今後へ向けて◆

- ・元気な挨拶を続けてほしい。慣れると声が小さくなったり、礼だけで済ませてしまったりしたが、元気を維持してほしい。
- ・コミュニケーション力がほしい。仕事をする上で、従業員同士のコミュニケーションは大事。



未来へステップ!



夏の授業といえば、プールでの「水泳」や「水遊び」も楽しみのひとつです。

小学部でのプール開きでは、高等部サービス班のお兄さん、お姉さんたちがプールをピカピカに掃除してくれたことを紹介し、「ありがとう」の気持ちをみんなでその場から伝えました。

また、水泳帽子をかぶる、プールには飛び込まない等の「**プールのおやくそく**」もしっかり確認しました。

実際にプールの時間になると、待ちきれないと喜んで入水したり、ドキドキしながら先生とそっと入ってみたり…それぞれの時間を楽しんでいます!

